

建築研究所 ニュース



平成 28 年 5 月 2 日

建築研究資料 No.171 「建築物の改修・解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術指針」の公表について

アスベストは深刻な健康被害をもたらす物質である反面、親和性や保温性などの性質がすぐれていることから、多様な製品に使用されてきました。建築物においても、吹付けアスベストを始めとして、耐火被覆材や断熱材、保温材や成形板等、多種多様なアスベスト含有建材が用いられてきました。アスベスト含有製品はすでに製造が禁止されているものの、既存建築物ではアスベスト含有建材が多量に残存しており、経年により改修や解体の時期を迎えているものが多くなっています。

アスベスト含有建築用仕上塗材は塗膜が健全な状態であればアスベストの飛散のおそれは小さいですが、除去工事においては破断や破壊が伴うため、適切な飛散防止措置が求められています。建築研究所では、2014 年度および 2015 年度に日本建築仕上材工業会と共同研究を実施し、アスベスト含有建築用仕上塗材の除去作業を実験的に再現し、その際の粉じん飛散状況を確認した上で、実際の除去工事での粉じん飛散防止処理技術の検討を行いました。

本指針はその成果をとりまとめ、アスベスト含有建材のうち、アスベスト含有建築用仕上塗材について、改修工事または解体工事に伴う除去工事の際のアスベストの飛散防止処理技術について提示したものです。

本指針が関係各位に有効に活用され、アスベスト含有建築用仕上塗材の除去工事の際のアスベスト飛散防止対策に役立つことを期待しています。

ダウンロードURL

<http://www.kenken.go.jp/japanese/contents/publications/data/171/index.html>

(内容の問合せ先)

国立研究開発法人 建築研究所
所属 材料研究グループ
氏名 宮内博之 (みやうちひろゆき)
電話 029-864-6617 (直通)
Fax. 029-864-6772
E-mail miyauchi@kenken.go.jp

建築研究資料 No.171

「建築物の改修・解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの 石綿粉じん飛散防止処理技術指針」

目 次

I アスベスト含有建築用仕上塗材の改修・除去におけるアスベストの飛散性の 検証

1. 検討の背景
2. 検証結果

II 建築物の改修・解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん 飛散防止処理技術指針

1. 総 則
 - 1.1 目 的
 - 1.2 適用範囲
 - 1.3 用 語
2. 事前調査
 - 2.1 調査方法
 - 2.2 事前調査後の措置
3. 仕上塗材の処理工法
 - 3.1 処理工法の種類
 - 3.2 処理工法の選定
 - 3.3 施工計画の作成
4. 届出
5. 処理作業共通事項
6. 隔離工法
 - 6.1 隔離養生
 - 6.2 セキュリティーゾーンの設置
 - 6.3 集じん・排気装置の設置
 - 6.4 隔離解除前の措置
7. 隔離工法としない場合の措置
8. 廃水処理
9. 廃棄物処理

付録

- 付1. 部分的な隔離の事例およびHEPAフィルター付掃除機による集じんの事例
- 付2. 超高压水洗工法によるアスベスト含有建材除去における高温汚泥水処理方法の事例
- 付3. 石綿含有汚染水処理手法の事例